

急性胆嚢炎、胆管炎は日常遭遇することが多い疾患であるが、経皮的ドレナージや内視鏡的ドレナージなど、専門性の高い観血的治療が必要で、従来その治療成績は十分なものではなかった。その原因は、どのタイミングにどのような治療を行えばよいのかというコンセンサスが形成されていなかったことにあり、「2005 年急性胆嚢炎・胆嚢炎の診療ガイドライン」(Tokyo Guidelines：TG)が作成されたことは画期的であった。その後2回、ガイドラインは改訂され、現時点で最新の TG18 では診療バンドルが提示されており、日常臨床でより使用しやすいガイドラインとなったと感じられる。このガイドラインの整備と並行して、内視鏡的治療は日進月歩の進歩を遂げ、治療の選択肢が増え、治療成績も着実に改善してきている。外科領域では、急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応およびその危険性についての理解が進み、合併症を回避する手術手技の考え方も徐々に普及しつつある。このような現状を踏まえて、今回「急性胆嚢炎・胆管炎を再考する」という特集を企画した。急性胆嚢炎・胆管炎の最新治療の多くは ICU をもつ high volume center で行われている。しかし、一般病院でも治療をすることがある急性胆嚢炎・胆管炎において、提供する医療の質の均霑化を考えることは重要で、この特集が、多くの病院で質の高い急性胆嚢炎・胆管炎診療が行われることに少しでも役立つことを祈念している。

(佐田 尚宏)

臨牀 消化器内科®

Vol. 39 No. 11

©2024 年 9 月 20 日発行

定価 3,300 円

(本体 3,000 円 + 税 10%)

・2024 年 年間購読料(増刊号含む 13 冊, 税込)

冊子版 43,450 円

電子版(個人のみ)43,450 円

冊子版 + 電子版(個人のみ)48,950 円

(詳しくはホームページをご覧ください)

・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社までお申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

ホームページ <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2024. Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 03-3814-8541